

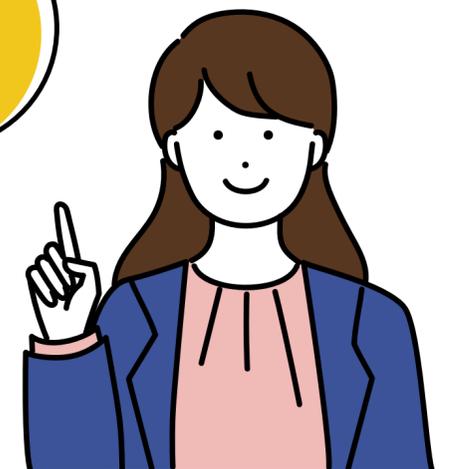
「観光」について知ろう!

1 そもそも「観光」ってどういうこと?

1 「観光」という言葉のもともとの意味

わたしたちは「観光」というと「どこかに旅行すること」だと思いますよね。しかし、古代中国の書物によると「観光」とは、「国を豊かにするために王様が国の光(=魅力)を観察すること」でした。そこから「何か目的のものを観に行く」という意味になったと考えられています。そして現在の観光は、本来の意味では表しきれないくらいに幅広いものになっているのです。

もともとは
見学や調査の
ような意味
だったんです

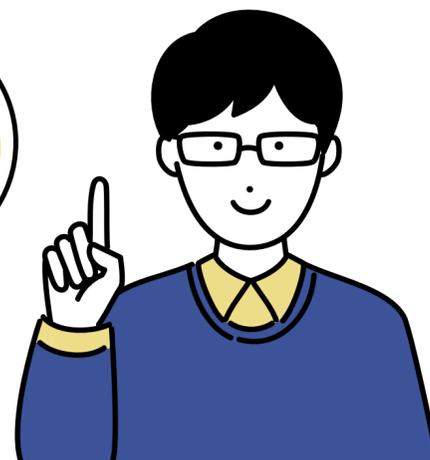


1 そもそも「観光」ってどういうこと?

2 観光が成り立つためには?

観光の主演は、実際に出かける「観光客」です。その土地でしか見られない美しい景色やその土地でしか味わえない美味しい食べ物は「観光資源」と呼ばれます。そして旅行先には、観光客が目的地まで移動するために使うバスやタクシーなどの交通機関や、観光客が休けいを取るために利用する飲食店など、観光客がその土地を楽しむことをサポートする様々なお仕事(観光関連産業)があります。さらに、観光客を受け入れる「地域社会」など、観光はたくさんのつながりによって成り立っています。

観光には
たくさんの人が
関わっていますね!



1 そもそも「観光」ってどういうこと?

3 いろいろな観光のスタイル

時代の変化とともに、観光のスタイルも変わってきています。かつては大人数での団体旅行がほとんどでしたが、観光の楽しみ方がみんなそれぞれ違ってきているので、今では個人や家族での旅行が多くなっています。また、実際に旅先に足を運ばず、インターネット上で観光地の様子を楽しむ「オンラインツアー」や、観光地で観光を楽しむだけでなく仕事もしながら観光を楽しむ「ワーケーション」など、新しいスタイルの観光もあります。



家族旅行



温泉旅行



修学旅行



卒業旅行



ビジネス出張



イベント・ライブ参加



スポーツ観戦



オンラインツアー



ワーケーション

日帰り
で
出かけるのも
観光なんです!



イラストの中で、今までに経験したことがある観光はあるかな?



2 観光の目的ってなんだろう?

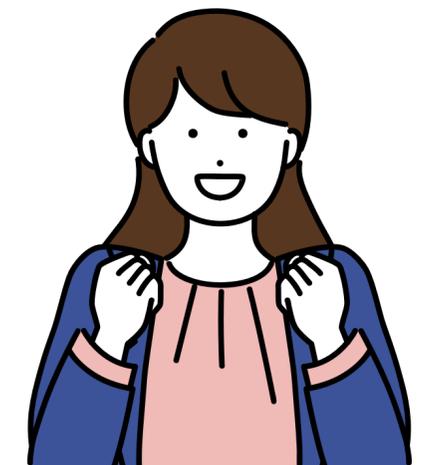
目的 1 見たことのないものを「見る」

観光の大きな目的として、今まで見たことのない景色やものを「見る」ということがあります。
美しい風景、遺跡などの歴史的な観光スポット、そこにでしか見られない自然現象など、人々は感動する場面が見たいからそこに出かけるのです。



目的 2 やってみたいことを「体験する」

これまでの「見る」から一歩進んで、モノやコトを「体験する」という観光が注目されるようになっていきます。湖でカヌーに乗る、海外から来た方が日本の伝統工芸品などのものづくりをするなど、その土地でしか出来ない「体験型観光」は、今、注目を集めています。



2 観光の目的ってなんだろう?

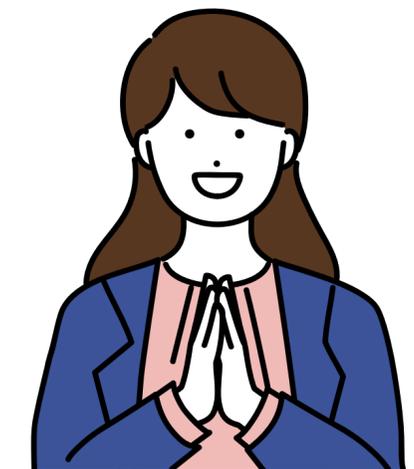
目的 3 日常を離れて「リフレッシュする」

行ったことのないまちを歩いてみたり、温泉でのんびりすごしたり、いつもの生活では味わえない体験でリフレッシュすることも観光の大きな目的です。特に大人は、日々の疲れやストレスから解放されるために旅行をする人も多いのです。



目的 4 その土地の人たちと「交流する」

住んだことのない土地へ行って、その土地でしかできない体験をする、それも観光の楽しみのひとつです。観光ガイドさんはもちろん、タクシーの運転手さん、飲食店の店員さんなどとの交流から、知らなかったその土地の魅力に気がつくことも多いのです。

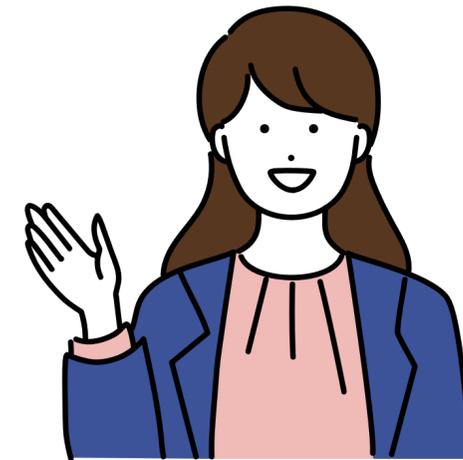


2 観光の目的ってなんだろう?

目的 5 旅先で「学ぶ」

教科書などの本から学ぶだけでなく、実際に旅先に足を運び観光地の歴史や文化などを直接見て感じることは多くの学びがあります。

宿泊研修や修学旅行も、そんな学びのための旅行です。旅行をとおして新しい知識を得たり、新しい経験をしたりすることで、自分自身の学びを深めることができます。



人は旅を
することで
成長すると
言われています

考えてみよう

目的①～⑤について、札幌市だったらどこでどんな体験ができるかを考えよう

※参考URL

ようこそSAPPORO

<https://www.sapporo.travel/>

定山溪観光協会

<https://jozankei.jp/>

3 たくさんの人が札幌に旅行に来ると、 札幌のまちはどのようなようになっていくのかな?

1 札幌のまちが元気になる

観光客がたくさん来て、バスや電車やタクシーに乗って、食事し、宿泊し、おみやげを
買い…といったように、観光をするようになると、札幌市内にある飲食店やホテル、お土
産屋さんにはたくさんのお金が入ります。観光客でにぎわうこれらのお店では、店員さんが
足りなくなり、新しく店員さんを雇います。こうして、働く人が増えて、札幌のまちがどん
どん元気になっていきます。

2 まちがどんどん暮らしやすくなる

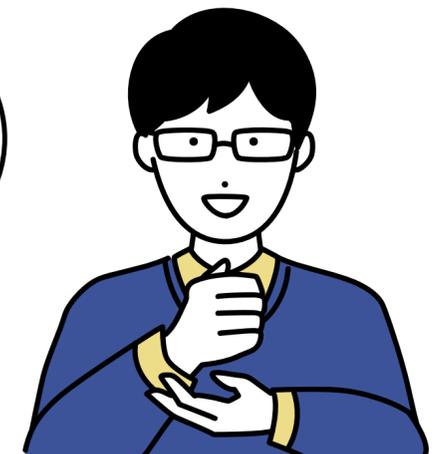
働く人を増やして、お金をたくさん稼いだお店は、稼いだお金の一部を税金として札幌市
に納めます。この税金は、札幌がより住みやすいまちになるための色々なことに使われてい
きます。ガタガタになってしまった道路をキレイにしたり、消防車や救急車を増やしたり、公
園の遊具を新しくしたり、まちがどんどん新しく、キレイに暮らしやすくなっていくのです。

映像で学ぼう

教えて!札幌観光
札幌市経済観光局職員
小野風太さん



まちの魅力が
どんどんアップ
するんですね!



3 たくさんの人が札幌に旅行に来ると、札幌のまちはどのようになっていくのかな?

3 地域の人々の活動が盛んになる

住民や市役所、地域の企業などが協力しあって、まちに観光客を呼んだり、来た観光客をおもてなししたりすることで、地域の魅力を高めるための活動が盛んになります。また、こうした活動における地域の住民と観光客のやりとりの中で、地域住民にとっての生きがい新たに生まれるというメリットもあります。

4 みんなが自分の住むまちを好きになる

訪れた観光客が札幌を好きになり観光地としての人気が高まると、そこに暮らす人たちも、自分のまちに誇りを持ちます。みんなが自分のまちを好きになることで、もっとこのまちを良くしていこうと、みんなの思いがひとつになり、自分の住むまちの自然環境や文化を大切にするようになり、より魅力的なまちになっていくのです。観光は、住民の心や暮らしも豊かにしてくれるものなのです。



みんなは、札幌のどんなところが好きかな?

4 観光には良くない問題もある?

1 「オーバーツーリズム」って何だろう?

観光客の数が^{きやく かず}増えることで、その観光地^ちに住む人^{ひと}たちの生活^{せいかつ}そのものや自然環境^{しぜんかんきやう}に良くない影響^{えいきやう}を与えたり、その観光地^ちの魅力^{みりよく}を下げ^さてしまうことを、「オーバーツーリズム」といいます。テレビ番組^{ばんぐみ}やインターネット^{じやうほう}の情報^{じやうほう}をもとに観光地^ちに人が押し寄せると、オーバーツーリズム^おが起こりやすくなります。道路^{どうろ}が渋滞^{じゅうたい}する、バスや電車^{でんしゃ}などが混雑^{こんざつ}する、路上^{ろじやう}のゴミが増える、まち中^{ちゆう}がたくさんの人^{ひと}で混み合う、夜間^{よかん}の騒音^{そうおん}が発生^{はっせい}するなど、オーバーツーリズムにはさまざまな問題^{もんだい}があります。



2 観光客による自然環境の破壊

観光^{げんいん}が原因^{げんいん}で、その地域^{ちゆうい}の自然環境^{しぜんかんきやう}が壊^{こわ}されてしまうことが問題^{もんだい}となることも少なくありません。東南アジア^{とうなん}のある小さな島^{しま}が、1日に4,000人^{にん}もの観光客^{おとず}が訪れる人気^{にんき}リゾート^{りぞーと}となったところ、観光客^だが出すゴミ^{ごみ}などが原因^{げんいん}で海^{うみ}がよごれて80%以上^{はっせんとういじやう}のサンゴ礁^{しょうご}がなくなったという例^{れい}もあります。北海道^{ほっかいどう}の知床^{しれとこ}でも、観光客^だがエサ^{えさ}をやったこと^{こと}でヒグマ^{ひぐま}が人間^{にんげん}になれてしまい、市街地^{しがいち}に入りこむようになったために駆除^{くじよ}されるなどの影響^{えいきやう}が出ています。



自然環境^{しぜんかんきやう}を守り^{まも}ながら観光^{たの}を楽しむために、どんなことができるかな?

4 観光には良くない問題もある?

3 観光で気をつけたいことって?

マナーを守らない観光客がゴミをポイ捨てしたり、だれかの土地や家にだまって入って勝手に写真を撮ったりすることが問題になっています。観光客を受け入れる市町村では、こうした問題を減らすためにさまざまな取組をしていますが、わたしたち一人ひとりがマナーを守って観光を楽しむことが大切です。

北海道の例

美瑛町には、畑や木、森などの自然風景を見渡すことのできる場所があり、撮影スポットとして人気です。しかし、撮影のために勝手に畑に入りこむ観光客が多く、その人たちの靴についていた菌が農作物を枯らしてしまうなどの被害がありました。美瑛町ではこの問題を解決するために、畑への侵入禁止マークではなく、畑の持ち主である農家の名前や、観光客への感謝のメッセージを書いた看板を立てました。一緒に写真に撮りたくなるようなデザインの看板にすることで、自然と畑の前で足を止めてもらえるように工夫されています。



写真:美瑛町 小林孝司

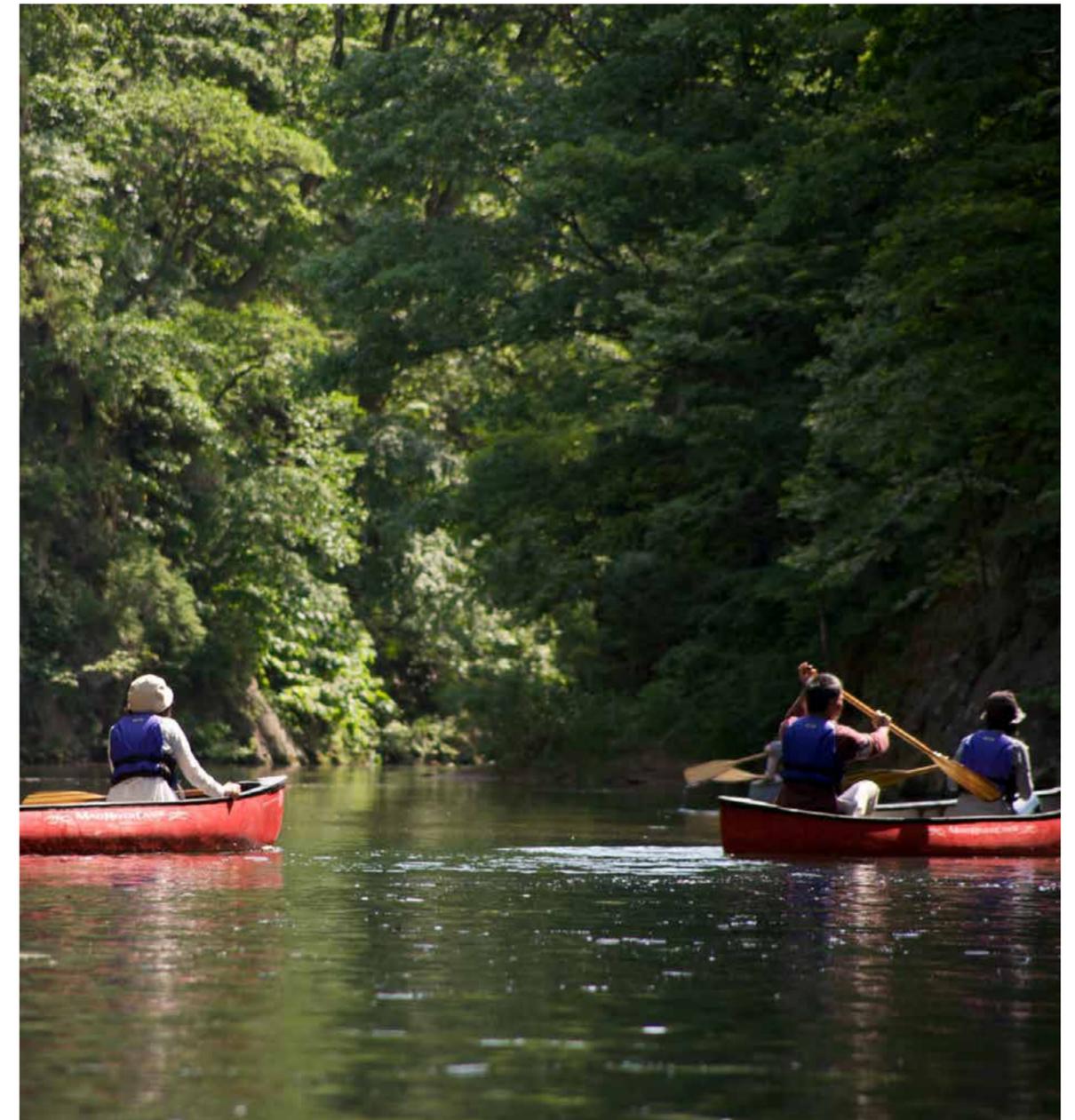
考えてみよう

自分が観光するときに、どんなことに気をつけようと思うかな?

5 これからの観光を考えよう

1 「見る」観光から「体験する」観光へ

有名な観光施設を訪れて見学したり、きれいな景色をただながめるだけではなく、それ以上の“体験をする”ことを観光に求める人が増えてきています。例えば、お寺を訪れてお経の読み上げを行ったり、美しい湖をカヌーでこぐなど、自分で体験することでより深く観光地のことを知ることができ、観光の満足度も高まります。その観光地でしかできない特別な体験がしたいと思っている人が増えてきているのです。



5 これからの観光を考えよう

2 環境を大切にしたい観光への取り組み

山登りをしたり、野生の動物や植物を観察したり、地形の成り立ちを学ぶなど、地域の自然環境や歴史文化を体験する観光が増えています。なぜなら、自然や文化に悪影響を与えずに観光を楽しみ、環境を守って未来につなげていくことが大切だと考えられているからです。観光客に地域の魅力を伝えることで、そこに暮らす住民も地域の自然や文化の大切さを見直し、地域社会そのものが元気になるとい、地域の未来を守る持続可能な観光は、今世界中で取り組まれています。



北海道の例

ニセコ町は、2021年に国連世界観光機関 (UNWTO) の「ベスト・ツーリズム・ビレッジ (BTV) ※」を受賞しました。この賞は、その土地の伝統と文化を守り、自然を生かした観光のかたちを新たに作り続けている地域におくられます。

※日本からはニセコ町と京都府南丹市美山町のみが認定されています。

